

文部科学省「先導的実践研究加配」配置校

日本語指導研究会

日本語指導が必要な児童の
学力保障に係わる支援の在り方

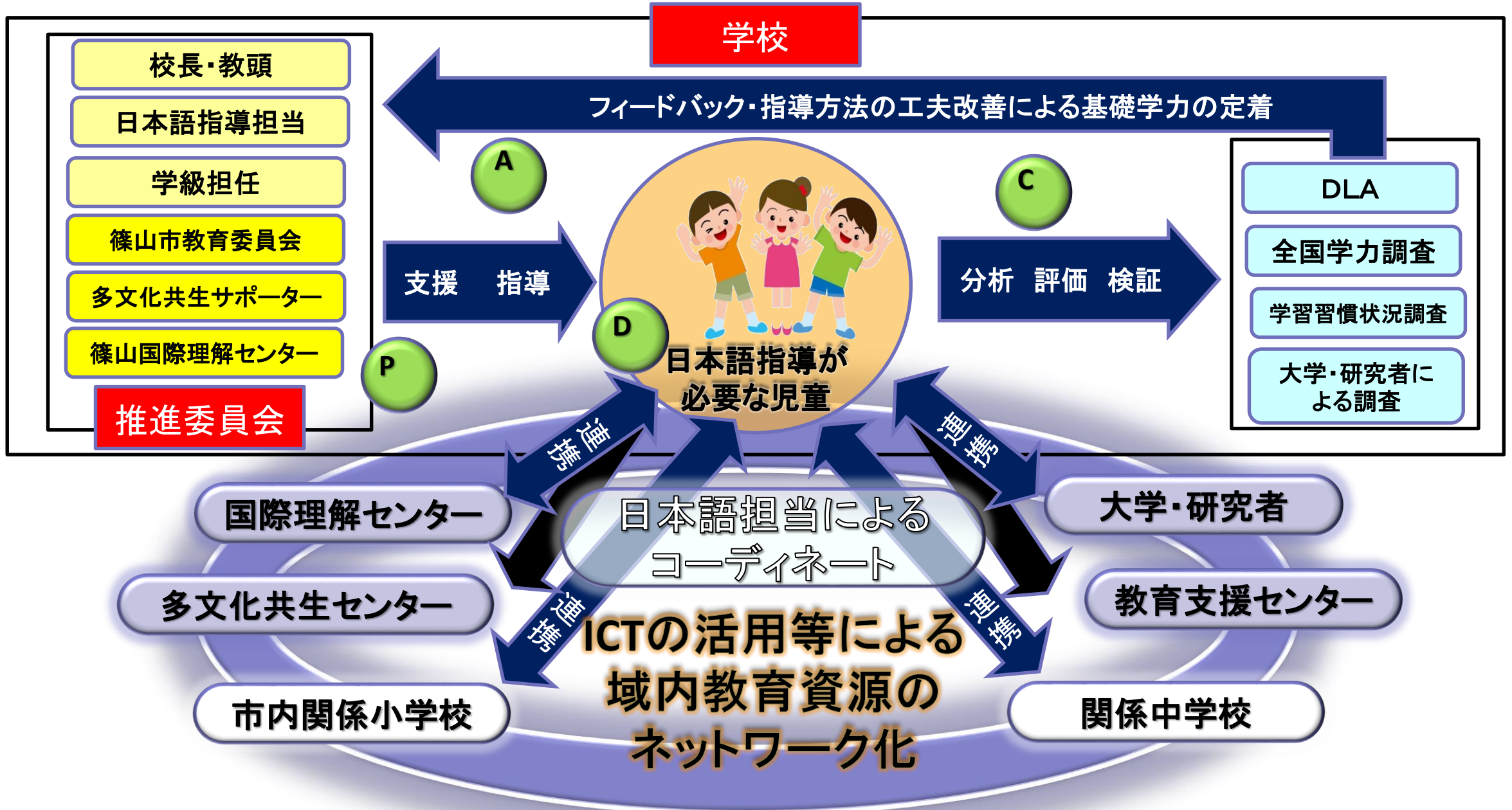
篠山市立岡野小学校

高見 成幸

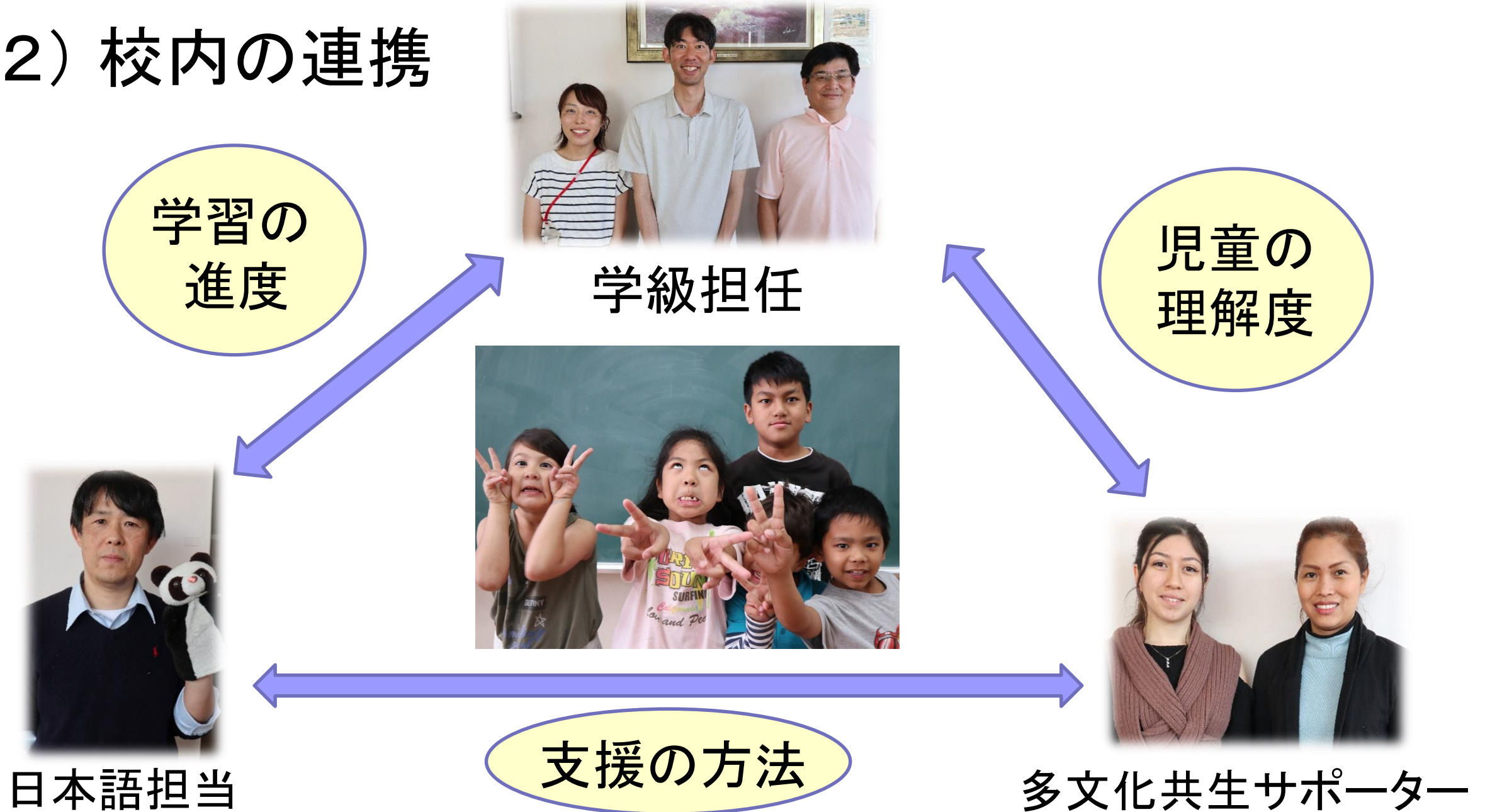
1 研修推進体制



(1) 日本語指導が必要な児童の学力保障に係る支援の全体構想図



(2) 校内の連携



(3) 取り出し指導

1年生 週7時間 (国語4、算数2、道徳1)

国語、算数・・・JSLカリキュラム教科志向型
道徳・・・・・・・・日本語の基礎、技能別日本語



(4) 篠山国際理解センターとの連携 子ども学習支援教室「**うりぼうくらぶ**」



(5) 7月 日本語指導研究推進委員会

篠山市教育委員会

市内の日本語担当



日本語指導の目標の共有化

篠山国際理解センター

岡野小学校職員

日本語指導研究推進委員会の様子



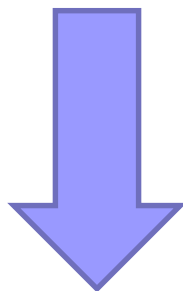
- ・(三重県)日本語指導**研修報告**
- ・岡野小学校の**実践発表**



- ・**DLA検査**の体験
- ・各校の取り組みの意見交換

2 特別の教育課程の実施について

平成26年度から日本語に通じない児童に対して



在籍学年の教育課程にとらわれることなく、その児童の日本語能力に応じた適切な内容を、取り出しで行うことができる。

特別の教育課程の編成と実施

教育委員会

学校

関係機関

「特別の教育課程」のスタートにあたって

① 特別の教育課程編成・実施計画

② 個別の指導計画

③ 日本語習得度確認シート

通称					性別	男	国籍			
氏名					生年月日	平成19年 5月 7日				
住所					連絡先					
家族構成	続柄	氏名	国籍	本人との言語	日本語理解の状況・備考					
	父				日本語理解の状況・備考					
	母				日本語理解の状況・備考					
	妹		フィリピン	タガログ語と日本語	日本語理解の状況・備考					
家族への連絡	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的な連絡が日本語で可能 (母) <input type="checkbox"/> 懇談会や行事の説明会が日本語で可能 <input checked="" type="checkbox"/> 懇談会や行事の説明会に通訳が必要 <input checked="" type="checkbox"/> 大切な連絡に翻訳文書が必要									

家庭環境

学年	年齢	月												特記事項
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	0歳	兵庫県丹波市												就学前の状況や本国の学校・外国人学校での就学状況など分かる範囲で記入する。
	0~	丹波市												日本生まれ 兵庫県丹波市
	1~	丹波市						丹波市立幸世保育園						1歳半で公立保育園に入所
	2~	丹波市立幸世保育園												
	3~	丹波市立幸世保育園												
	4~	丹波市立幸世保育園												
	5~	丹波市立幸世保育園						フィリピンの小学校						5歳半でフィリピンへ帰国
小1	6~	フィリピンの小学校												フィリピン
小2	7~	フィリピンの小学校												フィリピン
小3	8~	篠山市立岡野小学校												日本籍全部忘れた。5/10入国。5月12日編入。岡野小3年
小4	9~	篠山市立岡野小学校												岡野小学校4年生
小5	10~													
小6	11~													
中1	12~													

就学状況

② 個別の指導計画 様式1
 児童に関する記録

様式2 (指導に関する記録)

個別の指導計画

児童氏名		作成者		作成日	平成30年4月
				更新日	平成30年10月
日本語能力	話す	教科と関連のあるテーマで、自分の意思や相手に伝えるべき内容を簡単な日本語で発表することができる。在籍学級で進んで手を挙げて発表する機会が増えた。			
	読む	教科書を一人で読むことはできない。支援を得て、物語文や説明文を読み、その内容の大体を読み取ることができる。			
	書く	句読点、一字下げ、カギ括弧など、表記上のルールに留意して文を書くことができる。多読と「あらすじ」を積極的に取り上げることで、読解力や文章力が増えた。			
	聞く	教科書の内容に関心を持ち、集中して聞き、教師が説明する内容の大筋と流れをある程度理解することができる。校外学習のときに、説明をされる人の話を理解できるが、メモを取ることはできない。			

日本語と母語の能力

◆母語の様子

・母語での教育を受けたことがある。	■ある □ない	■本人からの聞き取り
・母語で日常の会話ができる。	■できる □できない	■家族からの聞き取り
・母語で書かれた学年相応の文章を読むことができる。	□できる ■できない	■母語話者の支援者からの聞き取り
・母語を使って学年相応の文章を書くことができる。	□できる ■できない	□母国の学校の成績表(成績表) ■有 □無

◆DLA実施記録

実施日(月・日)	実施内容	JSL評価参照枠	日本語習得度(学習目標項目例)
語彙力チェック	H29.9.22 日本語84% タガログ語58% 英語93%		
	H30.2.9 日本語87% タガログ語60% 英語89%		
DLA〈話す〉	H29.9.22 基礎会話～認知会話まで	ステージ4	4 d 授業の中でグループ学習に参加する。
	H30.2.9 基礎会話～認知会話まで	ステージ4	
DLA〈読む〉	H29.9.30 レベルC「花いっぱいになあれ」	ステージ3	5 d 教科用語の入った短い文章を読み、大意を理解する。
	H30.2.14 レベルC「花いっぱいになあれ」	ステージ3	
DLA〈書く〉	H29.11.6 W4「遊び」	ステージ4	6 d 教科用語でグループや学級全体の話し合いや発表を聴いて、大意を理解する。
	H30.2.15 W4「遊び」	ステージ4	
DLA〈聴く〉	H29.11.9 A運動会 Bごみのゆくえ	ステージ5	6 d 教科用語でグループや学級全体の話し合いや発表を聴いて、大意を理解する。
	H30.2.22 A運動会 Bごみのゆくえ	ステージ5	

DLA検査結果

指導計画

指導者	高見 成幸	支援者	山村 マリ	指導時数	週1時間							
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
「特別の教育課程」による指導計画	日本語学習内容			③技能別の日本語学習	③技能別の日本語学習							
	日本語学習内容			④日本語と教科の統合学習	④日本語と教科の統合学習							
指導計画	日本語学習内容			⑤教科の補習	⑤教科の補習							
	指導内容			【前期】 ③中学年レベルの物語文・説明文を読み、登場人物や場面、時間や事柄の順序などについての理解を深めることができる。【読む】表記上のルールに気をつけたり、習った漢字を使ったりして、本のあらすじなどの文章を書くことができる。【書く】 ④国語科では、教科書の内容を理解させるためにリライト教材を活用する。また、母語を使って作文を書くことで、母語力の向上やアイデンティティの形成を目指す。算数科では予習に取り組み、次時の在籍学級の授業に積極的に参加できるようにする。	【後期】 ③4年生の漢字の読み書きを指導する。在籍学級の授業で、正着が不正な部分の補習を行う。							

取り出しの指導計画

個別の指導計画 様式2
指導に関する記録

3 JSLカリキュラムの授業実践

<トピック型>

1年 生活科 「春の草花ビンゴをしよう」

1年 学級活動 「やさいのはたらき」

3年 国語科 「夏休みの詩を書こう」

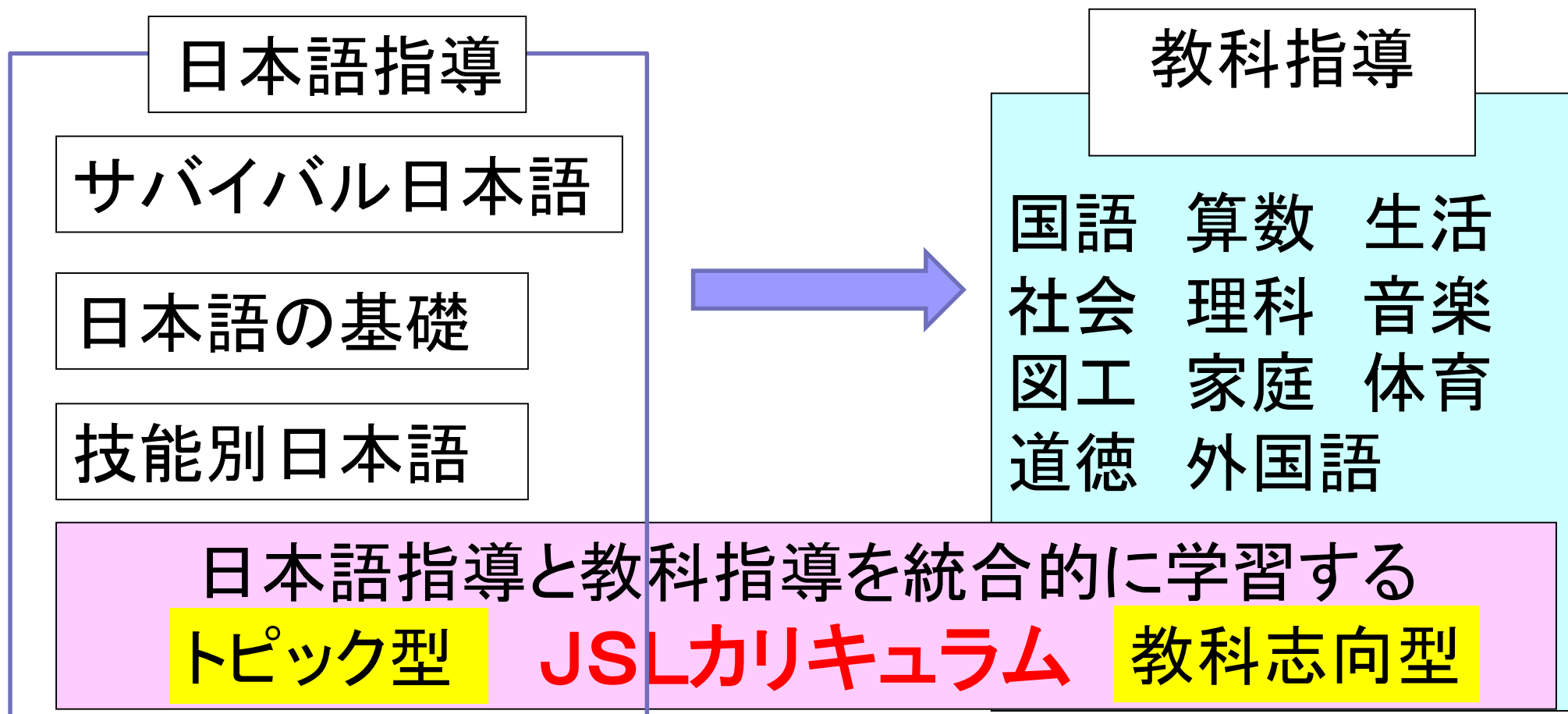
<教科志向型>

1年 国語科 説明文「どうやってみをまもるのかな」

5年 国語科 書く「一つの言葉から」

JSLカリキュラム Japanese as a second language

日本語を母語としない子どもたちの教育



各教科の授業に日本語で参加するための学ぶ力の育成

トピック型 1年 生活科「春の草花ビンゴ」(5月)



体験

インプット



探求

アウトプット



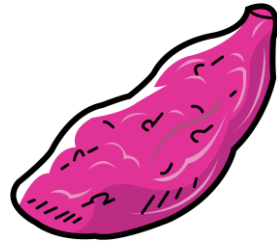
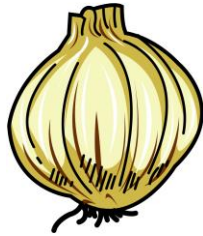
発信

日本語で表現する力の育成

トピック型 1年 学級活動「やさいのはたらき」(10月)

<本時の目標>

野菜の**はたらき**について知り、**進んで食べようとする意欲**を持つことができる。



<日本語の目標>

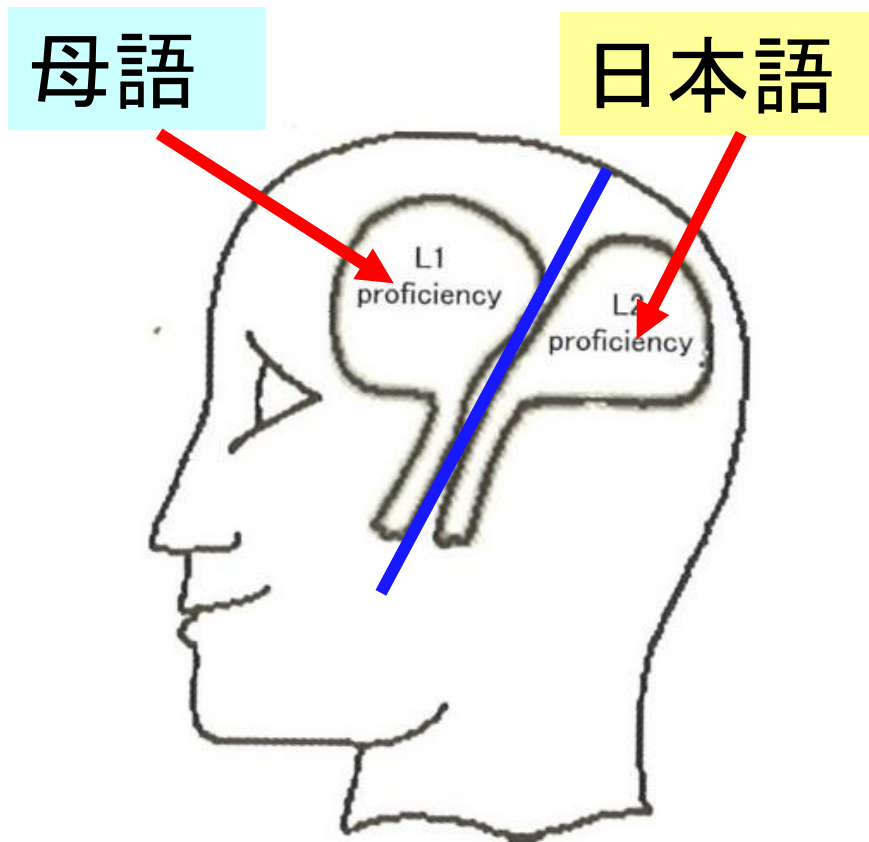
ものをさわったときの様子を表す言葉(ざらざら、つるつる等)や、**食べたときの味**を表す言葉(あまい、からい等)を使って、自分が感じたことを表現することができる。

トピック型 3年 国語科「夏休みの詩を書こう」(9月)

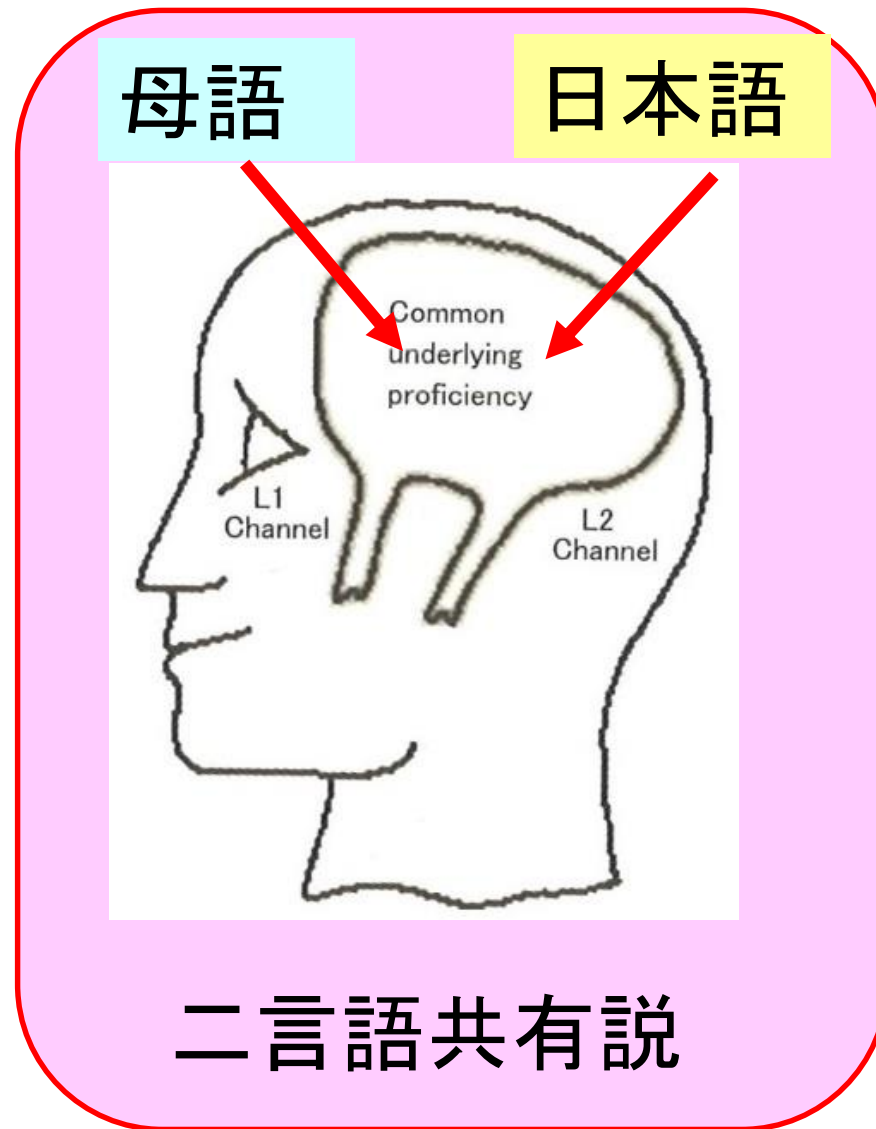
夜光虫を見た海	三年のプラド	サラ
夏休みには家ごと	しよに海に行	くた
大きな船にの	つてしまに行	った
船の上から水の	ながれを見て	いた
白し赤のクラゲ	がいた	
口のさき	がとが	た大きな魚
小さい魚をた	べていた	
大きななみ	がくる	と
とび上がるぐ	らい	
船がゆれた		
しまはついで	から海であ	そんだ
うきわのま	中にすわ	って
手ふご	ながら	
わかぬがた	くさんある	海の中を
夜すなは	まに行	つて水を
夜光虫が	青色に	光った
夜空の星	みたい	
きれいだ	からた	くさんけ
つぎの	日の朝	
みん	なで家	に帰
た		
染	く	ておも
		しろ
		か
		った



カミンズの二言語相互依存仮説

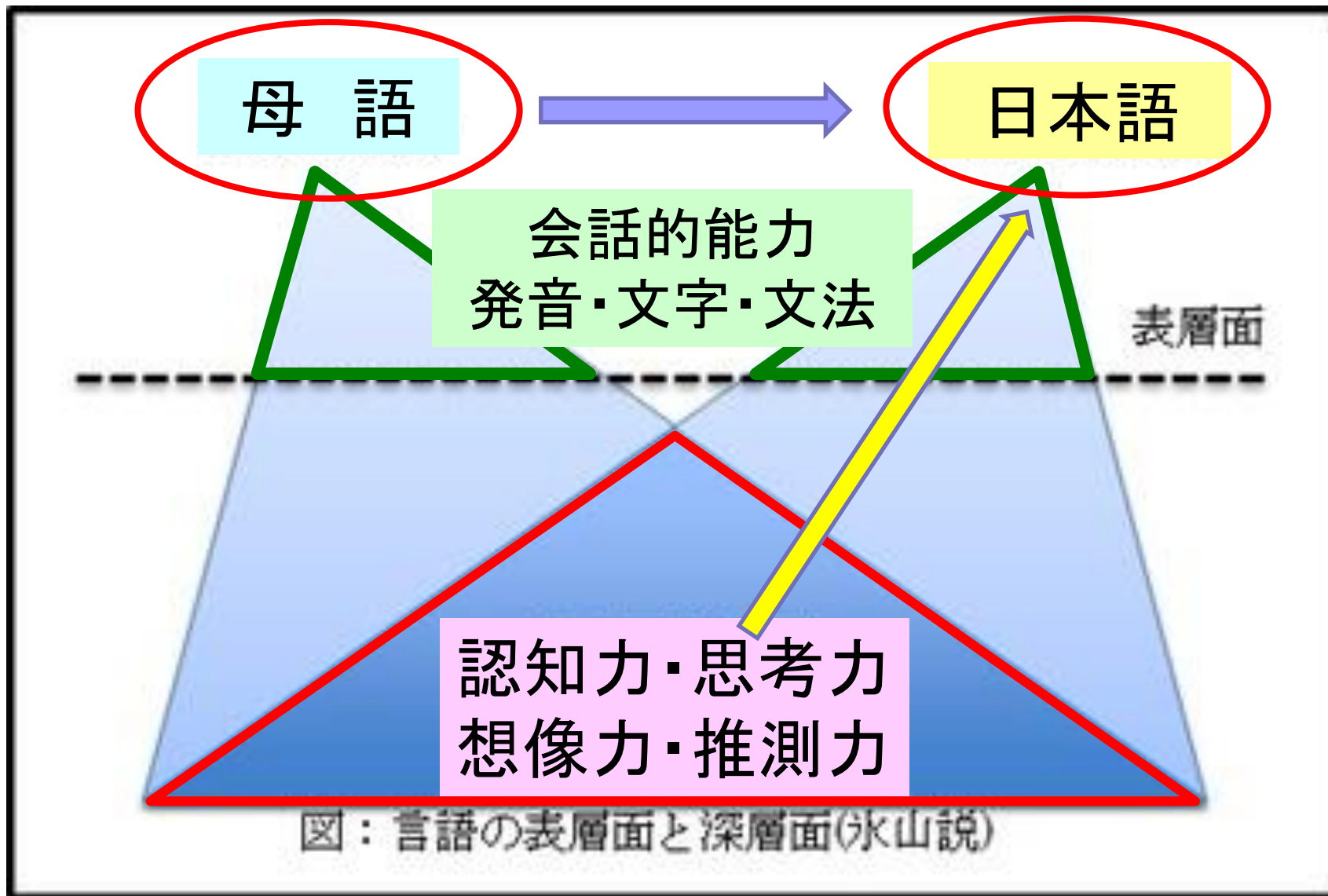


二言語バランス説



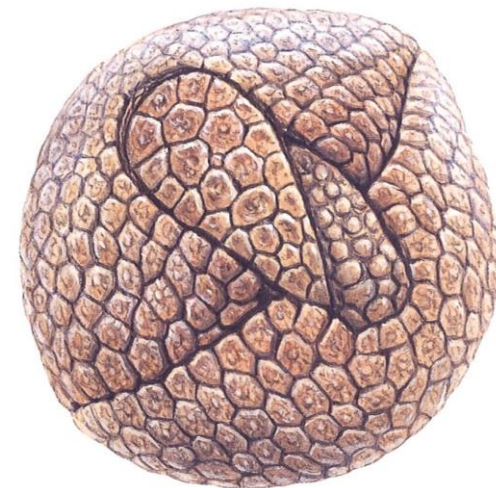
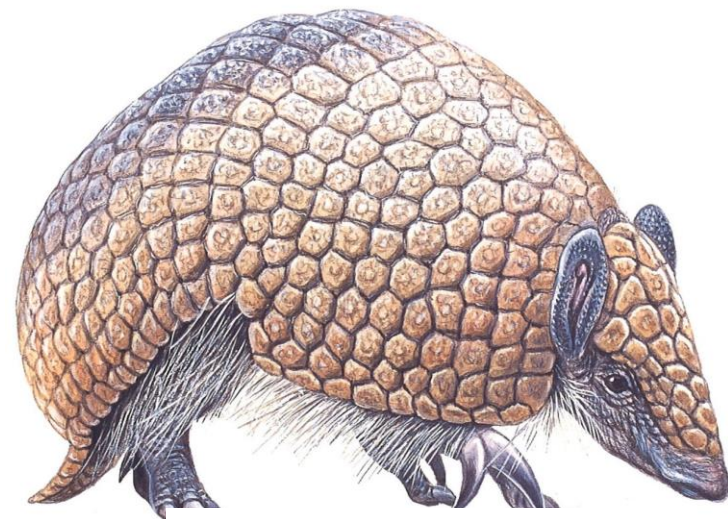
二言語共有説

カミンズの二言語共有説（冰山説）



教科志向型 1年国語科 説明文 「どうやってみをまもるのかな」

母語を使って在籍学級の授業に参加することができた



「お家の人に紹介したい動物」を1つ選び、**選んだわけ**を母語で発表する場面です。

教科志向型 5年 国語科 「一つの言葉から」



取り出し指導を在籍学級につないだ実践

4 児童の現状と課題



外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA

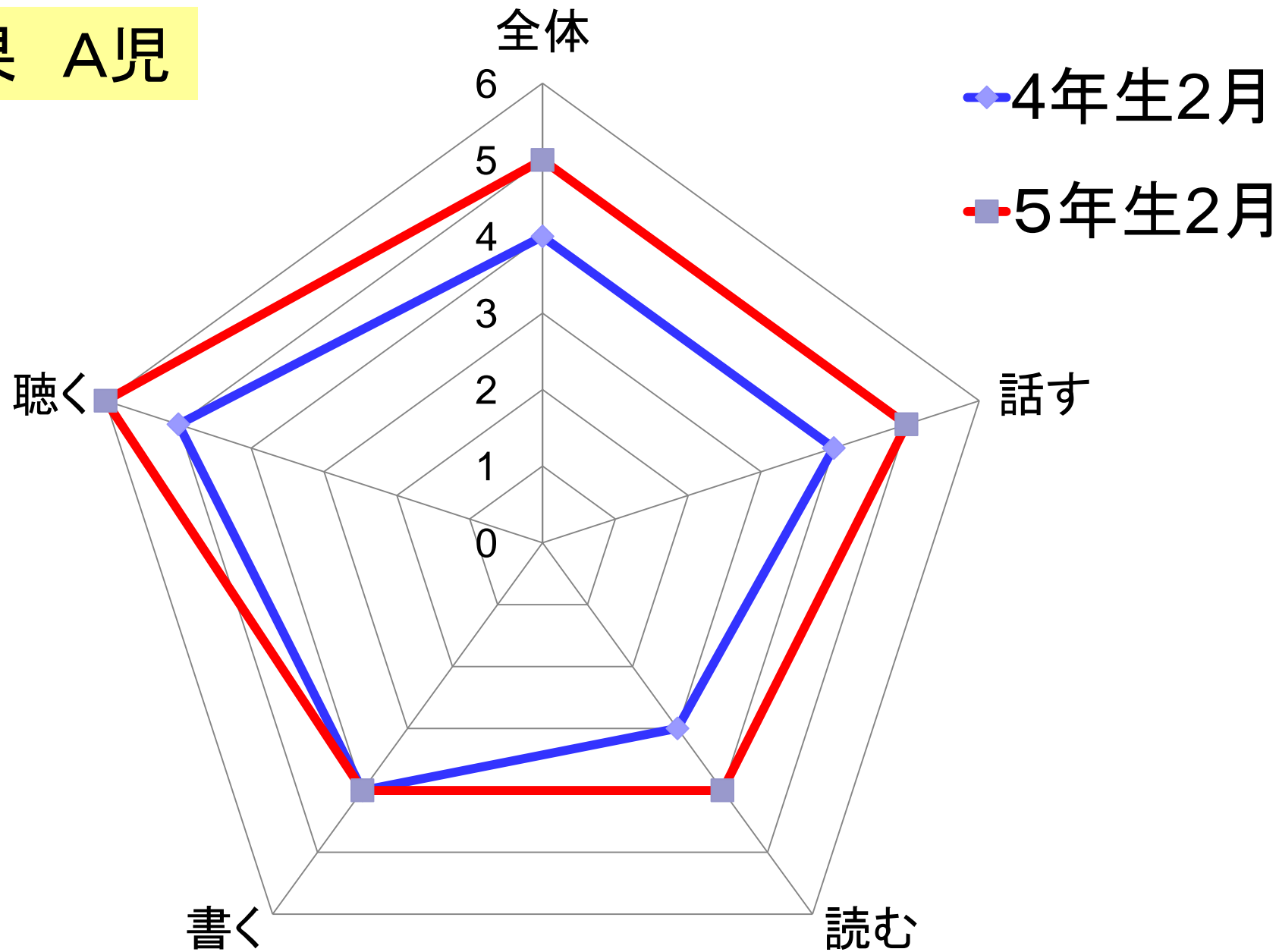
ディー エル エー
教科学習に**困難**を感じている児童

DLAで測定する**言語能力**

<はじめの一步> 「導入会話」「語彙力」
<話す> <読む> <書く> <聴く>

児童生徒の言語能力を把握し、
個に応じた学習支援の在り方を検討する

DLAの結果 A児



5 学力保障に向けた今後の取り組み

- 多読を通して、読書習慣を身につけさせる。
- 多文化共生サポーターと連携して、授業中に**母語の読み書きの力**を伸ばす。

二言語話せるうれしさが、**自己肯定感**につながる
- 在籍学級では、**活動**の中で日本語の**言葉・文型**を学び、**教科のねらい**に迫る授業をする。
- 取り出しでは、**JSLカリキュラム**を実施し、各教科の授業に**日本語で参加できる力**をつける。

カナダのバイリンガル教育のことば

教師が、目の前の子どもを

日本語ができない子どもと見るか

2つのことばと文化を持つ可能性のある子どもと

見るかによって

子どもの将来が180度変わる

